

# 3 ON 3 競技規定 (沖縄大会)

沖縄県ミニバスケットボール連盟

## 1 ゲームの進行について

- ゲーム開始時の攻撃権の選択は、チームキャプテン同士のジャンケンにより決定します。
- 攻守の交代 (原則としてスタートエリアより攻撃します)
  - ①攻撃側のファウル、攻撃側のアウトオブバウンズ、又はバイオレーション
  - ②攻撃側の得点
  - ③守備側のリバウンドボールの獲得・守備側のインターセプト※保持が変わった場合は、審判が合図をします。
- ゲームの再開
  - ①守備側のリバウンドボールの獲得・インターセプトなどは、スタートエリアから攻撃します。
  - ②攻撃側の得点あるいは、ファウルなどによる攻守の交代は、スタートアエリアから攻撃します。
  - ③守備側のアウトオブバウンズまたはバイオレーションは、その近くのサイドライン及びエンドラインからのスローインになります。(審判ボールになります。)

## 2 競技時間について

- 1試合、6分間の流しで行います。(試合間は2分です。)

## 3 得点について

- フィールドゴールは2点、3ポイントラインの外からは3点が与えられます。

## 4 ファウルと罰則について

- ファウルに対するジャッジは、審判に一任します。
- シュート動作中のファウル

### ①シュートが入った場合

バスケットカウントとして、ファウルを受けたチームに1点が加算されます。

バスケットカウントの点数	加算される点数	合計点数
2 (フィールドゴール)	1	3
3 (3ポイントラインの外)	1	4

② シュートが入らなかった場合

ファウルを受けたチームに1点が与えられ、スタートエリアより再スタートします。

- シュート動作以外のファウル（審判ボールになりません）

①スタートエリアより再スタートします。

5 メンバーチェンジについて

- メンバーチェンジは、スタートエリアより攻撃する時のみに交代できます。

（交代選手は、スタートエリア付近で待機しておくこと）

6 ヘルドボールについて

- ヘルドボールの場合は、無条件に攻守が入れ替えわり、プレー再開は、スタートエリアから行います。

7 同点の場合について

- 同点の場合は、フリースローで勝敗を決めます。

※両チームから交代で一人ずつフリースローを行うこと。

8 その他のルールについて

- スポーツマンらしからぬ行為があった場合は、審判と大会競技本部との協議のうえそのチームに対して失格を宣告する場合があります。

- プレーについては選手の自主性を尊重します。

※指導者や保護者等によるサイドコーチ（指示）は行わないようにして下さい。

- アウトオブバウンズの時等、ゲームの進行をスムーズに行うため、各コートに予備のボールを用意します。

コート図（見本）

